

全校の皆さん、おはようございます。

6月1日に行われた運動会は、「全力、協力、最後まで」というみんなの力で、ステキなものになりました。

さて、その運動会の3日前のお話しです。

先生達が会議をしていた時のことです。高学年の皆さんが、職員室に来て「一年生が泣いているんですけど」と教えてくれました。一年生の宮島先生が学校の外に出たところ、一年生が泣いていました。高学年の皆さんは、その子が泣いているのをそのままにすることができず、先生にお知らせに来ました。その場で、その一年生を見守っている高学年の皆さんもいました。

困っている一年生がいたら「助けよう」と動いた姿
自分の事でなくても、見守り続けた姿。

今から2500年前の中国に「孟子」という本があります。
その本の中に、「思いやりとは何ですか」という質問に対して、ある先生の答えが載っています。

それは

今にも、水の中に落ちそうになっている赤ちゃんを見て、ほっと置くことができずに、その場に駆けつける気持ち

昨年、6月に「人を笑顔にする算数、思いやり算」というお話しをしました。

困っている友達がいたら「助け合い」
自分の事でなくても、笑顔で「引き受け」
よく「声をかけ合い」
喜びも悲しみも「分け合う」

学校の中でも、地域の皆さんにも、「人を笑顔にする算数 思いやり算」を実行して、皆さんの心が温まり、笑顔あふれる城下小学校にしていきたいと思います。